

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	宮川 みどり	市確認欄	
専門部会名	子ども部会 第3回 就 労 部 会 第4回	子ども部会・就労部会合同部会	
日 時	令和7年10月15日（水） 10時00分～12時10分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 19 名	市職員 2 名	事務局 7 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ ☐ なし		
次第	1 自己紹介 2 合同部会開催の経緯 3 放課後等デイサービスでの支援・課題 放課後等デイサービス リブレイン 丸山さん 資料：子ども支援のための相談の流れ 日進市障害者相談支援センター 白井より 本人支援の視点：5 領域とは 4 就労移行支援事業所での支援・課題 就労移行支援事業所 パッソ日進校 中河さん 資料：福祉サービスを利用した福祉就労について 日進市役所 介護福祉課 吉ノ元より 就労移行支援事業所での支援・課題 パッソ日進校 週間スケジュール 5 B 型事業所での支援・課題 就労継続支援 B 型事業所 ポレポレハウス 水谷さん 資料：ポレポレハウスにおける利用困難事例から見る支援の課題 6 質疑応答 7 全体ミーティング (1)切れ目のない支援をしていくために、何ができるか？ (2)来年度、合同で何が行えるか？ 8 まとめ		
報告・検討 の内容	1 自己紹介 各部会員全員の自己紹介 2 合同部会開催の経緯 子ども部会・就労部会を含む専門部会は平成 23 年に発足し、つながりのある支援の連携を目指して協議を重ねてきた。しかし進展が十分でない現状を踏まえ、令和 7 年 4 月の全体会で「つながりのある支援」「子どもの頃から就労を意識した支援」「親亡き後の自立を見据えた支援体制作り」の重要性の再確認を行った。その結果、今回の子ども部会と就労部会の合同部会の開催に至った。今回初回となる合同部		

会は、児・者の事業所が取り組み内容の相互理解を深め、共通認識を持ち、今後の支援を構築していくための第一歩として企画した。

3 放課後等デイサービスでの支援・課題

放課後等デイサービス リブレイン 丸山さん

4 就労移行支援事業所での支援・課題

就労移行支援事業所 パッソ日進校 中河さん

5 B型事業所での支援・課題

就労継続支援 B 型事業所 ポレポレハウス 水谷さん

6 質疑応答

<質問 1>

引きこもりの方や、退院直後の方等、職業準備性ピラミッドの基礎部分ができていない方等もおられると思うが、その方も就労移行の期限の 2 年間の中で就労に結びついているか？

<回答>

多くの方が就労につながっていかれる。しかし難しい方には本人の意向を確認しつつ、他サービスへ移行される方もおられる。

<質問 2>

事業所に通う成人した方でお金の使い方が適切でない方がおられる。ご両親も困ってしまっている。子どもの事業所で幼少期にできるアプローチはどんなものがあるか？

<回答>

- 認知・行動・感覚・数の概念など「5 領域」で発達状況を分析し、支援していく
- 数字の理解や金銭感覚が未発達な場合は、視覚教材などを活用して支援する
- 学校の学習レベルや生活状況も踏まえて個別対応
- 模擬買い物体験（100 円でお菓子を買うなど）
- 紙芝居を使った「お金でできること・できないこと」の学習
- おやつの時間に「お金を払う→物を得る」経験を積む
- 高等部では金額を決めて使う練習
- 携帯決済のブロックなど、保護者への支援も実施

<質問 3>

感情の起伏が激しく、暴言・暴力が見られる方に、幼少期にどんな支援があったらよいと思われるか？

<回答>

エコマップを活用し、頼れる人・機関を可視化。幼少期からの支援履歴や社会資源の活用状況を確認していく。幼少期からの環境整備と医療機関との連携も含めた支援の積み重ねが、成人後の安定につながる。保育園・学校など、早期から頼れる環境があったかが鍵になる。

7 全体ミーティング

(1)切れ目のない支援をしていくために、何ができるか？

部会員一人ずつ発言。

- 障害児支援の指標になっている 5 領域のスキルのアンバランスさが、大人になっても課題になっていることが共有出来た。放課後等デイサービスでも自己管理・生活基盤の底上げが必要であり、自己発信や情緒の安定も重要。

- 放課後等デイサービス卒業後に保護者との連絡が途絶えることが多く、進路先が分からない。また卒業までに何をできるようにしておくとかを知らりたい。それを事業所内で共有していくことが必要。
- 支援者同士の意見交換の重要性を実感。事業所間の認識を深め、連携を強化していきたい。
- 就労後に必要なスキルを事前に把握することで、日々の支援に活かせる。感情の起伏など基礎的な力を育てつつ、本人の強みを一つでも多く伝えることでそれを生かしていけるのでは。
- 現在の支援が将来の大人の姿につながることを意識していきたい。就労先に支援内容を伝える手段（ツール）を作れるとよいのでは。合同部会で共有できる仕組みを作れると良いと思う。
- 療育や保育園での支援は基本の基の部分を感じた。親子・地域の園との連携が重要。保護者が抱えている将来に対する不安の解消のためには、今できる身近自立や特性理解が土台になる。園に持ち帰って共有したい。
- 小学校から高校までの切れ目のない支援を意識し、個別支援計画を作成している。しかし学校を卒業してしまうと支援が途切れる現状を踏まえ、関係機関との情報共有が必要と感じた。
- 小中高までは支援があるが、就労先の情報が入らず切れ目が生じる。学校や学校教育課との連携を通じて、支援者が過去の情報にアクセスできるようになり、支援者が繋がっていくことが切れ目のない支援に繋がるのではないかな。
- 就学相談の中でも、将来の就職先を見据えた環境選びが重要と保護者さんに話している。学校も研修や見学を通して事業所や企業の知識を得る必要がある。
- 保育園でも支援が必要な保護者が増えている。将来の見通しを持った保育や子育てが出来ることが大切と感じた。
- 学校・家庭での幼少期の状況を知るツールや、連絡手段の整備が必要。情報の蓄積と共有が切れ目のない支援につながる。
- 学校卒業後に、社会のルールに突然適応を求められることが大変だと思う。そんな時に趣味や好きなことを事前に把握し、本人に合った声かけや支援が行えれば、安心感につながると思う。事業所間の情報交換と定期的な会の開催がそういった状況の構築につながるのではないかな。
- 放課後等デイサービス職員が卒業児にとって信頼できる存在というお子さんも多い。保護者に職業準備性ピラミッドの基礎土台（自己管理能力やコミュニケーション力）を幼少期から積み上げることが大切。例えば家で留守番が出来るか、自分で健康診断に行けるか等のスキルも必要で、保護者にもそれを伝えていけると良い。
- 担当者の異動などで支援が途切れることも理解し、制度の限界を認識しつつ、見学会や会議を通じて支援者間の接点を増やして繋がっていかれたらと思っている。制度にない草の根的な活動や非公式なつながりも活用していけると良い。
- 受け入れ体制を考えていきたい、以前の情報がどこにあるか分

	かると支援に生かせる。企業の受け入れをどう広げていけるかも課題。 ●職業準備性ピラミッドが重要。企業は定着できる人材を求めており、支援者の存在や基本的な生活スキル（挨拶など）が重視される。 ●実際の就労現場を見学することで、就労につなげるための支援のイメージを持っていただけるのではないかと。福祉サービス説明会の開催も有意義。合同での開催も理解促進にもつながるのではないかと。 ●制度が切れ目を作っているが、本人には切れ目はない。卒業生の活躍が評価につながる。卒業生と交流する機会を作るのも良いのではないかと。 ●事業所で幼少から関わり、就職できた方が3人いる。保護者にも情報を共有し、何が大切かを理解してもらうことが必要。良い事例を共有するのもよいのではないかと。情報共有のツールがあるとよい。 ●情報共有ツールは良い案だと思う。今年度より福祉サービスの給付が、児・者共に介護福祉課に一体化されたので、今後見えてくるものがあると考えている。 (2) 来年度、合同で何が行えるか？ →時間の都合により、(1)でも意見が出たため割愛。 8 まとめ 切れ目のない支援のために必要なこと ●来年度の合同部会では、支援の成功事例を共有し、他事業所や支援者が参考にできるようにする。 ●小さな支援の積み重ねや日常の様子など、幼少期からの情報を蓄積できる仕組みとしてヘルピーネットの活用が重要。ヘルピーネットは、過去の支援履歴を確認できる日進市が推進する信頼性の高いシステムであり、支援者が自分のタイミングで閲覧・更新できる利便性がある。放課後等デイサービス、学校、就労支援、企業など異なる支援者間の情報共有を可能にするツール。個別支援計画のデータ化と共有を進め、複数事業所間でのモニタリングや連携が可能になるようにする。制度や担当変更による「切れ目」を補う。 ●支援者や相談員が横のつながりを持つ。 →合同部会の継続を確認。 →10月20日開催予定のヘルピーネット勉強会の周知を実施。
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	子ども部会：令和7年12月17日
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 3 回	子ども部会
日 時	令和 7 年 10 月 15 日（水）10 時 00 分～12 時 10 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 谷本 由美	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 大嶋 翔太	
⑤ 大石 葉子	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 浅野 紗織	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 奥田 佐智子	② 福田 早希（欠席）
----------	-------------

（事務局）

① 武田 裕子	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 西澤 伸太郎（欠席）
⑤ 白井 暢子	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	就労部会
	令和 7 年 10 月 15 日（水）10 時 00 分～12 時 10 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

就労部会専門部会員	
① 中屋 優	② 中河 智幸
③ 小山 喜久（欠席）	④ 中田 義雄
⑤ 水谷 公哉	⑥ 関谷 悠
⑦ 吉川 正洋	⑧ 鈴木 英雄（欠席）
⑨ 岡田 倫和（欠席）	⑩ 村野 政章（欠席）
⑪ 菅原 淳	⑫ 草野 圭一
⑬ 竹内 由美子	

（市職員）

① 吉ノ元 菜乃	
----------	--

（事務局）

① 渥美 則親	② 八木 柚月（欠席）
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 宮川 みどり	⑥ 中村 美智子